

2012年浜名耐久シリーズ戦競技規則書

2012年1月11日

-----競技規則-----

はじめに

ルールやマナーを守れる事を前提とし、クイック浜名の定める競技規則書に基づいて開催されます。心身共に健康な方で、「安全」と「楽しさ」を追求出来る方、「非難」「中傷」「怒らない」の3原則を守れる方ならどなたでも参加できます。

尚、競技規則書は最後までお読み頂き熟知して下さい。

参加について

1) 参加条件

クイック浜名、舞洲レクリエーション、スポーツカート阪奈の会員又はそれと同等とクイック浜名が認めた場合。

クイック浜名においてレンタルカートを安全にドライブ出来る方。

以前にクイック浜名においてレースに参加したことがない場合は会員限定ミニレースに2回以上参加したことがある方

～ 全てを満たしている方

又は、クイック浜名が認めた場合

2) チーム人員

1チーム2名～3名とする。ピットクルーは2名まで登録可能。

3) 参加費(エントリー費)

1チーム 30,000円(1チーム2名～3名)

と、スポーツ保険代 高校生以上年間 2,400円(4月～翌年3月迄)

高校生未満年間 1,300円(4月～翌年3月迄)

又はスポット保険代 1,000円

スポーツ保険はイベント当日より30日以上前までに申込みが必要

ピットクルーの方も保険が必要

4月から高校生になる場合は高校生以上の保険代となる

4) チーム名・チーム員変更について

チーム名は10文字以内とする。顔文字等は認めない。

チーム名の変更はシリーズ戦を通して1度のみ認める。その場合、エントリー時に申請すること。

チーム員は2～3名までとし、シリーズを通して1名のみ1度だけ変更出来る。その場合もエントリー時に申請すること。

5) シリーズポイントについて

各レースにて総合順位の上位3チームが表彰となり下記のシリーズポイントがチームに加算される。チーム名の変更は1回のみとします。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位～16位
シリーズポイント	15	13	11	9	7	5	4	3	2	1	0

シリーズ獲得ポイントが同一の場合は下記の順にシリーズ順位付けを行っていく。

「シリーズ戦中の最高順位、及び回数 最終戦順位の順番で決定する。」

シリーズ戦の表彰式は年末に行われる8時間耐久レース時(19時頃)に実施する。

6) 雨天時の競技について

大会当日7時の時点で気象庁から警報が発令していた場合は14時からドライバーズミーティングスタートに変更する。

大会当日の12時までに大雨・洪水・暴風警報が解除されない場合は中止とする。

中止になった場合はエントリー費を返金とする。(保険代は返金できません)

天候によりスケジュールやセッションが変更になる場合がある。

競技中で雨天もしくは路面コンディションがウエットの場合でもスリックタイヤで競技を続行する。

7) 参加申込み手順(エントリー手順)

大会当日の1ヶ月前の日曜日12時00分よりエントリーを開始し、大会当日1週間前までにエントリーチーム数が8チーム未満の場合は大会中止とする。

エントリー開始日程は大会当日2ヶ月前に発表する。

エントリー開始日は現金のみ対応する。振込みでのエントリーは翌日より可能とする。その場合、FAX又は郵送にてエントリー用紙を主催者に提出し、**振り込む前に主催者に確認**を取ること。

郵便局からお振込みの場合 ユ)モーターパーククイック 【記号】 【番号】 12300 54060211	他金融機関からお振込みの場合 ユ)モーターパーククイック ゆうちょ銀行 【店名】二三八 【店番】238 【口座】普 5406021
お振込みされる場合は、必ずお名前の後ろにイベント開催日を入れて下さい。 例; ハマナタロウ 0220	

エントリー開始時において主催者が募集するチーム数を超えた場合は抽選となる。

エントリー出来なかったチームはキャンセル待ちとして登録出来る。その場合、名前と連絡先のための登録で、参加費やエントリー用紙等は必要としない。

エントリーする際は必ず最低2名又は3名分の「エントリー用紙」と「参加費用全額又は予約金3000円」(残金は開催日一週間までに支払い)と「スポーツ保険未加入の場合はスポット保険代」を必要とする。開催日一週間前までに残金が支払われなかった場合はキャンセル扱いとする。

代表者又は代理人でのエントリーも可能だが、必ず最低2名分のエントリー用紙と参加される方の会員証(当社以外の会員の方の代理の場合は必ず必要)を持参すること。

代表者のみのエントリー用紙では受け付けない。

エントリーする際と大会当日は必ず会員証を持参すること。

8) 参加申込みキャンセルについて

エントリーをキャンセルする場合はキャンセル料金が発生する。

エントリーをキャンセルする場合は、受付完了時に渡される「受理書」と「キャンセル申請書」を主催者に提出すること。

「受理書」と「キャンセル申請書」を受け取った日をキャンセル日とする。

電話のみでのキャンセルはトラブルを避ける為、受け付けない。

返金はキャンセル料金の差額を店頭にて返金する。

振込みでの返金を希望される場合は更に振込手数料を差し引いた金額を返金する。

キャンセル料金	
保険代は返金出来ません。	
大会当日の15日前まで	10%
大会当日8日前まで	50%
大会当日前日まで	90%
大会当日	100%

9) 参加にあたって

レーシンググローブ・レーシングシューズ・レーシングスーツ・フルフェイスヘルメットが望ましい(原則)が皮膚の露出が少なく運転に支障をきたさない服装(バイザーのあるヘルメット、皮膚の露出がなく操作に支障をきたさない長袖、長ズボン、手袋、運動靴)であればレースに参加できる。

半袖・半ズボン・サンダルでは参加出来ない。

ヘルメット・グローブはレンタルに限りがありますので、各自で用意すること。用意出来ない場合はエントリー時に申込が必要。先着順となる。

雨天の場合はレインコートが必要となる為、各自で用意すること。レインコートのレンタルはありません。

サインボード・ストップウォッチはレンタルありませんので、各自ご用意下さい。サインボードはチームドライバーにピットインを知らせることで便利です。ストップウォッチは連続走行時間及びピット時間を確認することで便利です。

走行時は必ずヘルメットのあごひもを閉め、服装も止めれる箇所は全てきちんと止めるようにして下さい。

10) 競技中について

レース中にスピン、コースアウトした場合オフィシャルは手を貸せません。自力でコース復帰できない場合にはリタイヤもしくは車両回収の対象となります。

但し、女性及び中学生以下の参加者に関してはオフィシャルの手を借りてカートをコースまで戻すことができます。

カートから降りる場合は必ずエンジンを止めること。

セッション中の事故、又はアクシデントにより次のセッションでの走行に支障をきたすと判断した場合、そのセッションのリタイヤを命じる場合があります。

レースの運営を回収・修理の作業より優先して行います。修理・回収作業に対する抗議は一切受け付けません。

走行中、アクシデント等により車両にトラブルが出た場合は頭上に手で「×」印をして合図を行い、オフィシャルを呼んで下さい。オフィシャルが到着後車両点検を行い走行不可と判断した場合は**オフィシャルと一緒にピットまで戻って来て下さい。**ドライバー判断でのコース横断は一切認めません。**競技中、ドライバーとの無線及び携帯電話での通話は禁止とさせていただきます。**

11) 車両選択について

ゲートオープン時にクラブハウスに入ることが出来、速やかに「誓約書」を記入し、会員証を提示すること。

各チームで最初に乗車申込書を記入したドライバーを代表者とみなし、カート選択順のクジを引く。引いたクジはそのまま持参すること。

ドライバーズミーティング終了後、クジの1番から順に並び乗車するカートを選択していく。

持ち時間は1チーム10秒とする。

10秒経過しても車両を決定できない場合は最後尾に再度並ぶこととする。

決勝レースに乗車する車両がフリー走行及び予選にて故障し、修理不可能で乗車出来ない場合は予備車両より選択する。

但し、エンジンのタレ等では交換しないこととする。

車両の変更は全て主催者により決定することとする。主催者側より連絡がなければ、選択した車両で競技を続行とする。

イベントスケジュール

1) 競技内容は以下の通りとする。

	競技内容	時間(分)
1	フリー走行	20分
2	予選	10分
3	決勝レース	120分

尚、各セッションの競技時間に関してはエントリー状況や天候などの諸状況を加味し、大会本部の決定により変更する事がある。又、予選方法によっては予選時間を変更する。

変更があった場合は当日ドライバーズミーティング時に通達するものとする。

2) タイムスケジュール

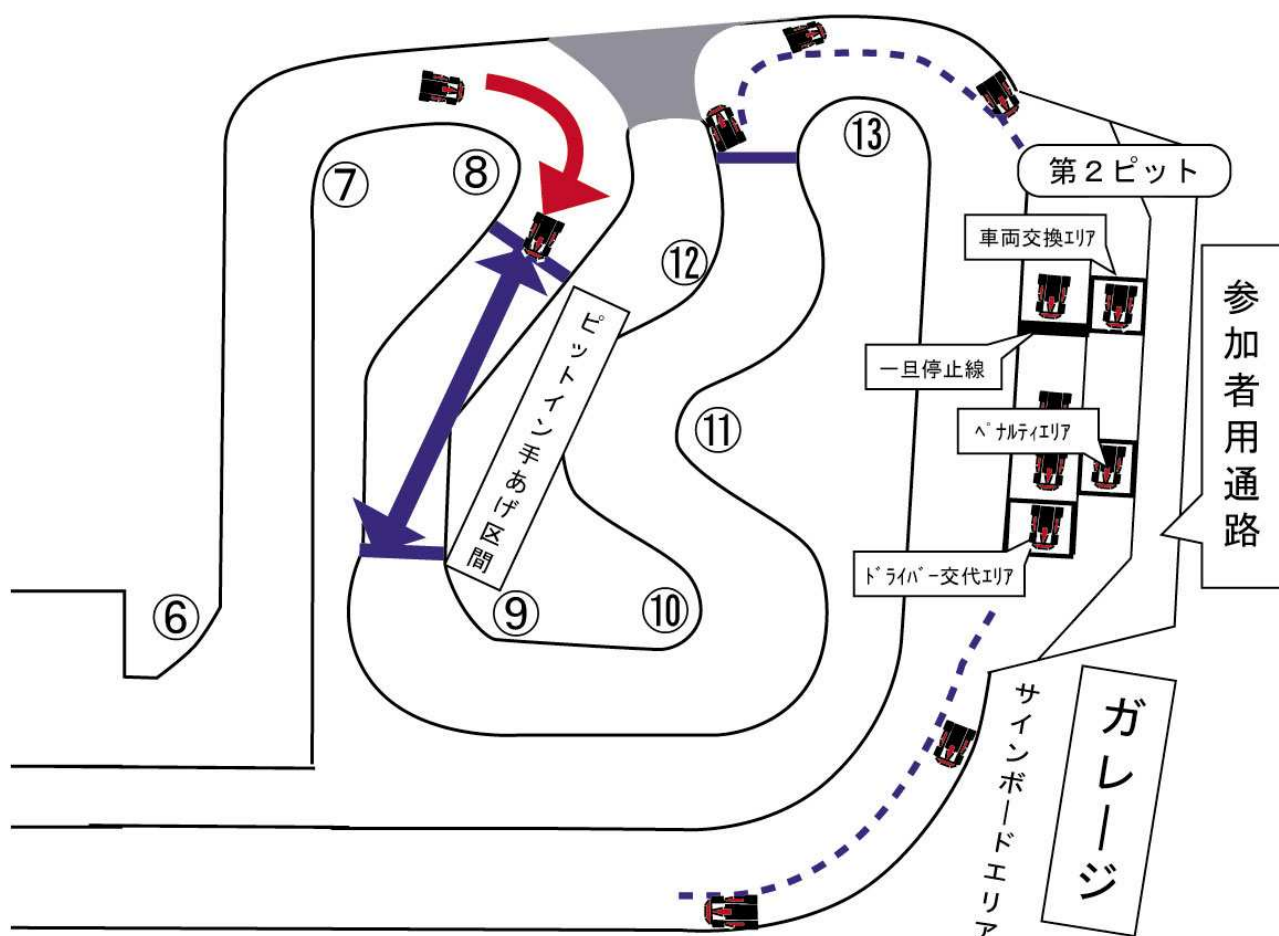
	ゲートオープン及び受付開始 ゲートオープンまでクラブハウスに入れません。	8:30~	受付時に必ず会員証を提示して下さい。
	ドライバーズミーティング	9:20~	ピット前で行います。但し、天候等により場所を変更する場合があります。
	車両選択開始		クジの順に速やかに並んで下さい。
	フリー走行	10:00~	ドライバーズミーティング終了後、第1ドライバーは速やかに準備をして、車両に乗車して下さい。
	予選	10:20~	予選
	決勝レース	11:00~	第1ドライバーは開始時間5分前までに準備をして、乗車して下さい。
	表彰式	13:30~	

天候やトラブル等でスケジュールが変更になる場合があります。予めご了承下さい。

出来るだけスケジュール通りに進行していきますが、スケジュールより早く進行できる場合は早めに行進していきます。ご協力の程よろしく申し上げます。

進行を妨げるような悪質な行為をされる方には、途中退場を命じる場合があります。

耐久レース・ドライバー交代方法



●交代方法●

- ① 8コーナーから9コーナーまでにピットイン合図をする。
- ② ピットイン入口よりピットロードを徐行し、第2ピットにピットインする。
※ピットロード入口に進入する際は、必ず安全を確認して行うこと。
※ピットインラインをタイヤが越えた場合はペナルティの対象となる。
- ③ 一旦停止線で車を一旦停止させ、ドライバー交代エリアに車を徐行で進める。
※ピット内ではタイヤをロックさせての停止はペナルティの対象となる。
※他の車両が一旦停止している際は、その後ろにつき、前車が進んでから一旦停止線で停止し前に詰めていく。
※ピット内で他の車両に衝突した際は、後方の車両にペナルティを課す。
- ④ ドライバー交代はドライバー交代エリアに進入できた車両のみ行うことができる。
※ドライバー交代エリアで他の車両がドライバー交代している際は、一旦停止線より車両を進めて交代中の車両の後ろにつき並んで待つ。
- ⑤ ドライバー交代エリアで停止したドライバーは、確実に車両が停止したことを確認した後、**エンジンを始動したまま降車**する。
※車両停止前に降車する行為は、ペナルティの対象となる。
- ⑥ チームの腕章を腕から取り、タイムチェックオフィシャルの前のトレーに置き、「〇〇番交代です」とタイムチェックオフィシャルの伝えること。
※次のドライバーはタイムチェックオフィシャルの横で待つこと。
- ⑦ タイムチェックオフィシャルがチェック次第、次のドライバーに腕章を渡す。
- ⑧ 腕章を受け取った次のドライバーは、**乗車前に腕章を肘より上に付け乗車**しピットアウトする。
※ドライバー交代する車両がドライバー交代エリアに停止した際、次のドライバーがタイムチェックオフィシャルの横で準備ができていない場合は交代遅延行為でペナルティの対象となる。

●ペナルティを受けた場合●

- ① ペナルティを受けたチーム（ブラックフラッグと車両番号を提示）は速やかにピットインし、一旦停止線で停止後、ペナルティエリアで停止する。
- ② 情報係よりペナルティの説明を受ける。
- ③ 説明が終了した後、情報係の指示に従いドライバー交代エリアに車両を進める。ドライバー交代エリアで一旦停止を行いピットアウトする。
※ドライバー交代エリアでは一旦停止のみでよい。ドライバー交代はできない。
※ペナルティの場合は、オフィシャルが「ペナルティエリア」に誘導する。
※ベースカー中は全てのペナルティを課さない。レーススピード中に課す。

ピットはコース西側第2ピットを使用する。

ピット内は徐行とし、いつでもすぐに停止できる速度で走行すること。

ピットイン出来る条件

- a, ドライバー交代の場合
- b, ペナルティを受けた場合
- c, 車両トラブルの場合
- d, 競技終了の場合
- e, 体調不良の場合
- f, 背あてのマットがずれた場合

以上の場合のみピットイン出来る。上記以外の理由は認めない。

ピット内は一旦停止線とドライバー交代エリアの2箇所停止する場所があり、必ず停止しないとけない。

停止する際にタイヤをロックさせての停止、又はピット内でのスピン・接触はペナルティの対象となる。

参加選手並びに参加申込時に届出のあったピットクルー（2名まで）以外はピットへの立ち入りは出来ない。

ピットイン・ピットアウト時は必ず片手(右手)を上げてコース走行車に合図すること。

4) ピットインについて

ピットイン時は必ず白点線内を走行する。

タイヤ等に接触した場合はペナルティの対象となる。

ピットインは必ずピットインラインに沿って走行すること

ピットインラインをタイヤが越えた場合はペナルティの対象となる。

ピットインは13コーナー入口からアウト側ピットレーンを通して第2ピットへ進入する。

「ピットイン合図区間」にて、必ずピットイン合図の右手を挙げる。

ピットイン合図を行った車両は必ずピットに入ること。

使用コースによって変更がある。

5) ピットアウトについて

ピットアウト時は白点線内を通り、白点線が切れてからコースに合流する。

ピットアウトは必ずピットアウトラインに沿って走行すること。

ピットアウトラインをタイヤが超えた場合はペナルティ対象となる。

「ピットアウト合図区間」にて必ずピットアウトを右手を上げ合図すること。

6) ドライバー交代方法について

8コーナーから9コーナーまでにピットインの合図をする。

ピットイン入口よりピットロードを徐行し、第2ピットにピットインする。

ピットロード入口に進入する際は必ず安全を確認して行うこと。

ピットインラインをタイヤが越えた場合はペナルティの対象となる。

ピットロード外側のバリアにタイヤが接触した場合はペナルティの対象となる。

一旦停止線でカートを一旦停止させドライバー交代エリアに車両を徐行で進める。

ピット内ではタイヤをロックさせての停止はペナルティの対象となる。

他の車両が一旦停止している際はその後ろにつき、前車が進んでから一旦停止線で停止し、前に詰めていく。

ピット内で他の車両に衝突した際は後方の車両にペナルティを課す。

ドライバー交代はドライバー交代エリアに進入出来た車両のみ行うことが出来る。

他の車両が交代している際は、一旦停止線より車両を進めて交代中の車両の後ろにつき並ぶ。ドライバー交代エリアで停止したドライバーは確実に停止したことを確認した後**エンジンを始動したまま**カートから降りる。

車両停止前に降車する行為は、ペナルティの対象となる。

チームの腕輪を腕から取りタイムチェックオフィシャルの前のトレーに置き「 **番交代です**」とタイムチェックオフィシャルに伝えること。

次のドライバーはタイムチェックオフィシャルの横で待つておくこと。

オフィシャルがチェック次第、次のドライバーがトレーから腕輪を取る。
腕輪を受け取った次のドライバーは**乗車前に腕輪を肘より上に付け**乗車し、ピットアウトする。
交代する車両がドライバー交代エリアに停止した際、次のドライバーがタイムチェックオフィシャルの横に準備が出来た状態でいない場合は、交代遅延行為としてペナルティの対象となる。
カート乗車中には腕輪に触らないこと、腕輪の脱着はカートに触れてない状態で行うこと。

7) ペナルティを受けた場合

ペナルティを受けたチーム（ブラックフラッグとカート を提示）は速やかにピットインし、一旦停止線で停止後、ペナルティエリアで停止する。
エンジンを停止する。
情報係りよりペナルティの説明をする。
説明が終了した後、エンジンを始動し、情報係りの指示に従いドライバー交代エリアにカートを進める。ドライバー交代エリアにて一旦停止を行いピットアウトする。
ドライバー交代エリアでは一旦停止のみでよい。ドライバー交代は出来ない。
ペナルティの場合は、オフィシャルにより「ペナルティエリア」に誘導する。
全てのペナルティはペースカー中には課さない。レーススピード中に課す。

レースで使用されるフラッグ（旗）

	<p>チェッカーフラッグ 競技終了。 チェッカーフラッグ後は追越禁止。クールダウン走行をし、ピットにもどる。 チェッカー後のスピンやコースアウトはペナルティの対象とする。</p>
	<p>日本国旗 競技スタート</p>
	<p>グリーンフラッグ（緑旗） 競技再スタート。競技再開。 グリーンフラッグが提示され、コントロールライン通過後追越可能。 ペースカーが解除される場合によく使用される。</p>
	<p>イエローフラッグ（黄旗） 追越禁止。危険箇所を注意し回避せよ。 黄旗解除線までは追越しを禁止し危険箇所を安全に通過すること。 黄旗解除は黄旗解除線で黄旗が提示されていない場合とする。</p>
	<p>レッドフラッグ（赤旗） レース中断。 安全にピットにもどれ。場合によってはスタッフの誘導でコース上で停止させる場合がある。</p>
	<p>ブラックフラッグ（黒旗） ピットに入れ。 カート も同時に提示する。 ペナルティの対象となった車両に振られるが、車両異常とオフィシャルが判断した場合、点検の為に振られる場合がある。</p>

ドライバーは必ず走行中オフィシャルより提示されるフラッグ見る義務があり、理解して行動出来る
と判断する。提示されているのに、理解出来なかった場合、見ていなかった場合はフラッグ無視と判断
する。場合によっては競技を棄権するように命じる。

ペースカーについて

1) ペースカー導入について

「レース中」・「フリー走行中」・「予選中」必要に応じてペースカーが入りレーススピードをコントロールする場合がある。

その場合**全コースで追い越し禁止**となり、ペースカーに追いついていなくても全車スローダウンしなくてはならない。

尚、ペースカー導入中はコントロールラインでP.Cのサインボードを提示するので、提示があった場合、全車コントロールライン通過後は**追い越し禁止**となる。

ペースカー導入時は順位に関係なくランダムに入る。

ペースカー導入中も連続走行時間に含まれることとする

ペースカー導入中もドライバー交代可能である。

コース上危険度により赤旗中断する場合がある。その場合、すみやかに全車ピットインすること。

レース中断後、状況によってはレースを中止することがある。その際、レース時間の3分の2以上経過している場合はその時点での結果を最終結果とする。3分の2未満の場合は、後日延期とし主催者側より延期日を発表する。

2) ペースカー（全コース追い越し禁止）解除について

コース上がクリアになった時点でペースカーがピットインする。

ペースカーがピットインした後もコントロールラインで**グリーンフラッグ**が提示されるまでは**追い越しを禁止**する。また、その場合もコントロールラインまでは**追い越しは禁止**となる。

3) ペースカー中のドライバー交代について

ペースカー中、ドライバー交代は可能である。

ドライバー交代時にタイムチェックオフィシャルへ腕輪を渡す際、ペースカーが13コーナーからコントロールラインまでの区間を走行している場合、次のドライバーは腕輪を取れない。コントロールラインをペースカーが通過後、タイムチェックオフィシャルより腕輪を受取りスタートする。

タイムチェックオフィシャルより腕輪を受け取ったドライバーはスタートできることとする。

ドライバー交代エリアで腕輪をオフィシャルに渡した時間がドライバー交代時間とする。

但し、ドライバー交代エリアの後方で交代を待っているチームは待っている時間も連続走行時間に含まれる。

フリー走行について

1) 走行時間

20分間

2) フリー走行中のドライバー交代について

連続走行時間の適用はないが、必ず各ドライバーが1度は走行すること。

フリー走行では練習の場として基本的にペナルティは取らないが、競技長の判断により過度の場合ペナルティを取る。場合によっては失格とする。

20分間は全チーム交代等の練習に励むこと。フリー走行途中終了は出来ないこととする。

予選について

競技開催日一か月前までに発表する。

天候等の理由により予選方法の変更があった場合はドライバーズミーティングで発表する。
予選走行でペナルティを受けたチームは決勝のスタートはピットスタートとなる。
フリー走行や予選でペナルティを受けたチームは決勝レースのスタートではピットスタートとなる。
1回につきレーススタートしてから先頭車両がコントロールラインを通過後、10秒経過後にピットよりスタートする。(フォーメーションラップも行えない。)

決勝レースについて

1) 競技内容

120分耐久レース

2) 順位の決定について

走行周回とその周回を終了したタイムによって決定する。

3) スタート方法

グリットスタート方式(フォーメーションラップは状況により異なる。1~2周)
フリー走行や予選でペナルティを受けたチームは決勝レースのスタートではピットスタートとなる。
1回につきレーススタートしてから先頭車両がコントロールラインを通過後、10秒経過後にピットよりスタートする。(フォーメーションラップも行えない。)

4) 連続走行時間と交代回数について

1人のドライバーが連続して運転する時間は最大20分とし、120分で1チーム最低9回の交代をしなければならない。但し、ドライバー交代可能時間は競技スタート5分経過後~終了10分前までとする。
スタートドライバーは最低5分、最後のドライバーは最低10分は走行しなくてはならない。

5) ペナルティについて

ブラックフラッグにてペナルティを課された車両は全て「ピットストップエリア」に停止する。

ピット内の一旦停止は全て遵守すること。

ペナルティでピットインした場合は、ドライバー交代は行えない。

ピットアウトする前のドライバー交代エリアで必ず一旦停止してからスタートすること。

その際、ドライバー交代エリアでは降車しなくてよい。

ペナルティ・・・・・・・・・・・・・・・・ピットストップペナルティ場所にてエンジン停止後、情報係りよりペナルティの説明を受ける。

ストップペナルティ・・・・・・・・ピットストップペナルティ場所にてエンジン停止後、ペナルティ時間をオフィシャルが計測する。

ラップペナルティ・・・・・・・・・・競技終了3分前経過後にペナルティがあった場合に課す。競技終了後ラップ減算(-1LAPもしくは-3LAP)

6) 失格について

大会規則、競技規則違反によってアドバンテージを得た場合

他の参加者の安全を省みず行った危険行為

オフィシャルの指示を故意に無視した場合

LAPペナルティに当たる行為を繰り返した場合

ルールを遵守しようとせずマナーを守れない場合

他の参加者を非難したり中傷したりした場合

ペナルティについて

以下の項目についてペナルティを課すが、記載項目以外でも主催者が危険な行為と判断した場合はペナルティを課す場合がある。

尚、フリー走行、予選走行中のペナルティは全て決勝レーススタート時にピットスタートとして課す。

ブロッキング・ブッシング・走路妨害

ブロッキング・・・追い越そうとしている車両がいる時に、故意にラインを閉めて走行に影響をあたえた場合及び接触した場合。又はストレートでの大きなライン変更。

ブッシング・・・後方より前車両に追突し、前車両に走行に影響を与えた場合または故意に接触したと判断した場合。(又は、相手がスピンしなくても押した結果で順位変動があったと判断した場合。)

順位変動が無くとも取る場合がある。

走路妨害・・・故意的に蛇行走行をした場合。

コースショートカット

故意にコース外を横断した場合(オフィシャルが判断した場合)。
コースよりも更に内側(コース外)に入り、追い越した場合。

安全確認義務違反

スピン・コースアウト・ピットアウト等の後、コースに復帰(合流)をする際、危険な行為をした場合、又は、危険な行為とオフィシャルが判断した場合。

ピットイン・アウトライン違反

ピットイン・アウトラインを片側前後どちらかのタイヤがラインを越えコースに侵入した場合。
ラインを踏んだ状態は対象とならない。

ピットイン・アウト合図違反

ピットイン、もしくはピットアウトする際、コース走行車両に対し合図を行わなかった場合、もしくは、オフィシャルが合図無しと判断した場合。分かりやすいように合図すること。
ピットイン合図を行ったが、ピットインしなかった場合。

ピットロード徐行違反

ピット内でのタイヤロック又はスピン・接触をした場合。又は、速度が速いと競技長が判断した場合。

パイロンやタイヤバリアに接触した場合。

ピット内一旦停止違反

ピット内2ヶ所の停止場所にて停止しなかった場合。停止する際にタイヤロック又はスピン・接触をした場合。

連続乗車時間違反

一人の連続走行時間が20分を超えた場合。
最終ドライバーも適用される。

交代回数違反 (ピットストップペナルティ 1回につき60秒)

120分間の耐久で競技終了残り10分を経過した時点でドライバー交代回数が5回以上行っていないチームで課す。1回につき60秒ピットストップする。

交代遅延行為

ドライバー交代の際、交代エリアに車両が停止した時に次のドライバーがタイムチェックオフィシャルの横に待機していない場合、又は乗車準備が出来ていない場合。

服装違反 (最低必要装備が非着用の場合にはピットストップ120秒)

ヘルメットのしめ忘れや服装しめ忘れの場合。最低必要装備が非着用の場合とは、「参加について」「9)」を参照。

サインボード違反

サインボードエリア提示禁止エリアにてサインを提示した場合
サインボードエリアはガレージの南の端からプレハブの間とする

フライング

スタート時にフライングした場合

黄旗(イエロー)違反

追越禁止区間において追い越しを行った場合。又はスピン・コースアウトした場合

フラッグ無視 (ピットストップペナルティ 60秒) 競技終了3分前を経過してからは3LAP減算

オフィシャルが提示しているフラッグを無視した場合

Wチェッカー (ラップペナルティ 3Lap減算)

チェッカーフラッグを見逃し、チェッカーを2度受けた場合に課す。
最終結果より3周減算をし、同一周回がいた場合は同一周回の下位となる。

徐行制限中のスピン (競技終了後は3Lap減算)

徐行制限中(追越禁止区間又はフォーメーションラップ時、チェッカー後)にスピン・コースアウトをした場合

車両交換について

車両交換は「車両交換エリア」からのスタートとする。

車両交換の決定は全て競技長が行うとする。

車両交換エリアからスタートする際に、ドライバー交代エリアにてドライバー交代は可能とする。

ドライバー交代を行わない場合であっても、必ずドライバー交代エリアで必ず一旦停止してからピットアウトをすること

車両状況が良くないと競技長が判断した場合、カート交換を命ずる場合がある。

競技終了10分前を経過した時点からのカート交換は行わない。その時点で競技終了とする。

レース中にアクシデント等で走行不能になった場合、基本的にペースカーが導入され車両をピットまで回収し、オフィシャルが修理を行うが、すぐに修理不能の場合はレース車両回収後、乗車していたドライバーが車両交換エリアにて予備カートに乗り換え、ピットからスタートする。

予備カート走行中に修理が完了した場合、次のドライバー交代時に元の車両へ乗車する。

交換車両の選択は出来ない。

以上